

宿泊税の活用(使途)の方向性について

宿泊税は、原則として新たな事業、既存の事業の拡充に活用する。

地域資源の磨き上げと魅力向上

- ・食文化を活かしたコンテンツの造成
- ・観光イベントによる観光消費の増大
- ・コンテンツツーリズムの推進 など

持続可能な観光地づくり

- ・閑散期対策
- ・観光プロモーションの強化(国内及びインバウンド誘致等)
- ・観光DXや雇用対策支援 (キャッシュレス決済、自動化、タクシー配車アプリの導入支援等)
- ・機動的な需要喚起に備えた観光基金の積立 など

受入環境の充実

- ・二次交通の充実(どこバスの充実等)
- ・宿泊施設や公共施設等の受入環境整備支援 (DX・キャッシュレスの導入支援等) など